

# 2019 年度コンピテンシー・マイルストーン到達度調査 報告書

2020 年 10 月 30 日

医学部 I R 室

## 1. 調査概要

### 1-1. 調査目的

本学医学部学生の学修成果（コンピテンシー・マイルストーン到達度）に関する実態を調査することを目的とした。

### 1-2. 調査項目

調査項目は、本学のコンピテンシー・マイルストーン（2 年次修了時、4 年次臨床実習開始前、卒業時）の各レベルの到達度について、学生が自己評価を行った。

### 1-3. 調査対象

2019 年度医学部 1～5 年生 588 名を対象とした。

### 1-4. 調査方法

4 年次においては、2019 年 10 月 24 日～27 日において、Web(AIDLE-K)により記名式の調査を実施した。2019 年度 1 年生、2 年生、3 年生、5 年生においては、2020 年 4 月 3 日～6 日において、Web(AIDLE-K)により記名式の調査を実施した。

### 1-5. 回答者数と回収率

2019 年度 1 年生から 5 年生まで 496 名が回答した。内訳は、1 年生が 113 名（回収率 89.7%）、2 年生が 111 名（回収率 88.8%）、3 年生が 103 名（回収率 91.2%）、4 年生が 99 名（回収率 87.6%）、5 年生 70 名（回収率 63.1%）であった。

## 2. 結果

コンピテンシー・マイルストーンは、2 年次レベル、4 年次臨床実習開始前レベルで設定されている。そこで、2 年次、4 年次において、レベル未達成の割合が 40%以上のものを抽出し、以下に示した。グラフのタイトルは卒業時コンピテンシーのそれぞれの項目とした。

<2 学年次>

### IV. 診療技能

33. 身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。

34. 診療録を SOAP 形式で、客観的、かつ簡潔に記載し、プロブレムリスト、鑑別診断を作成できる。

#### <4 学年次>

##### III. 医学の知識と科学的探究心

- 22. 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。
- 24. 疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できる。
- 26. 疾患の適切な治療、最新の治療を理解し説明できる。
- 28. 疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる。
- 31. 医学、医療における客観的根拠を適切に探索し、EBM を実践できる。

##### IV. 診療技能

- 35. 適切な検査を選択し、結果を正しく解釈できる。
- 36. 時、相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。
- 38. 感染管理を考慮した診療ができる。
- 40. 慢性疾患・高齢者・緩和・予防・健康増進・リハビリテーション、介護/ケアの視点から患者ケアの実践ができる。

##### V. 地域社会への貢献

- 41. 地域社会における疾病予防、健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。
- 43. 医療計画、地域医療構想について説明できる。
- 44. 住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。
- 45. 社会保障制度を理解し、地域包括ケアの実践に参加できる。
- 47. 国際社会の健康問題を把握、説明することができ、可能な範囲でその問題に対処できる。

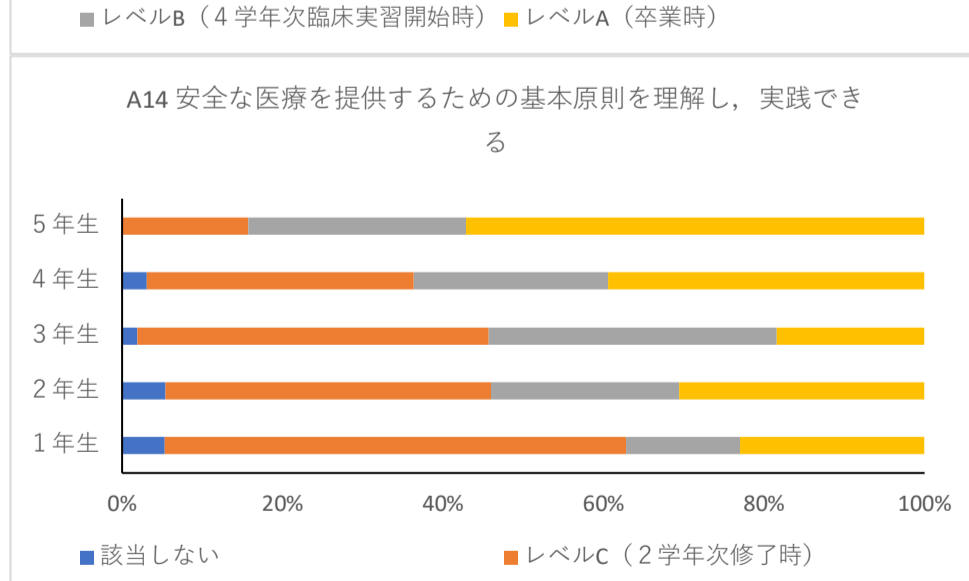
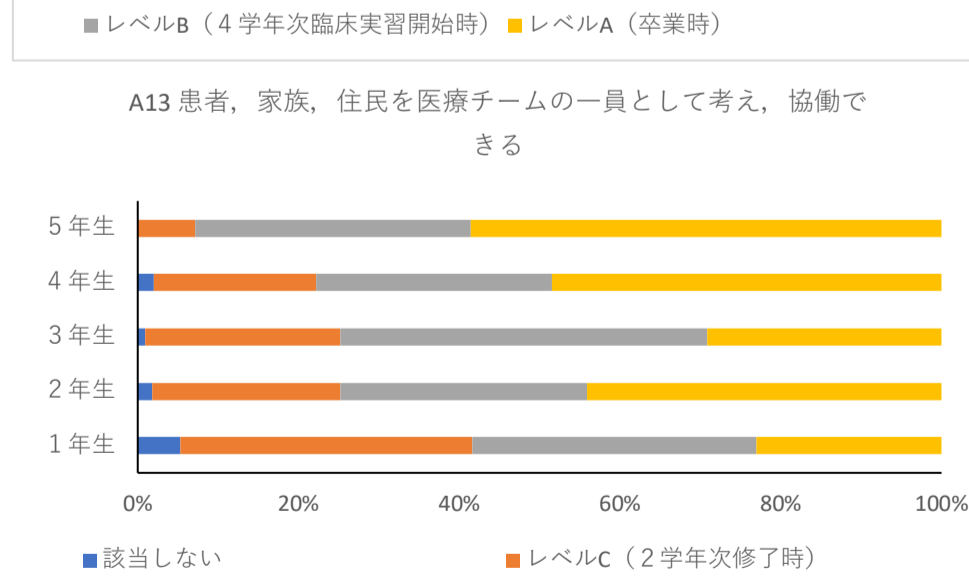
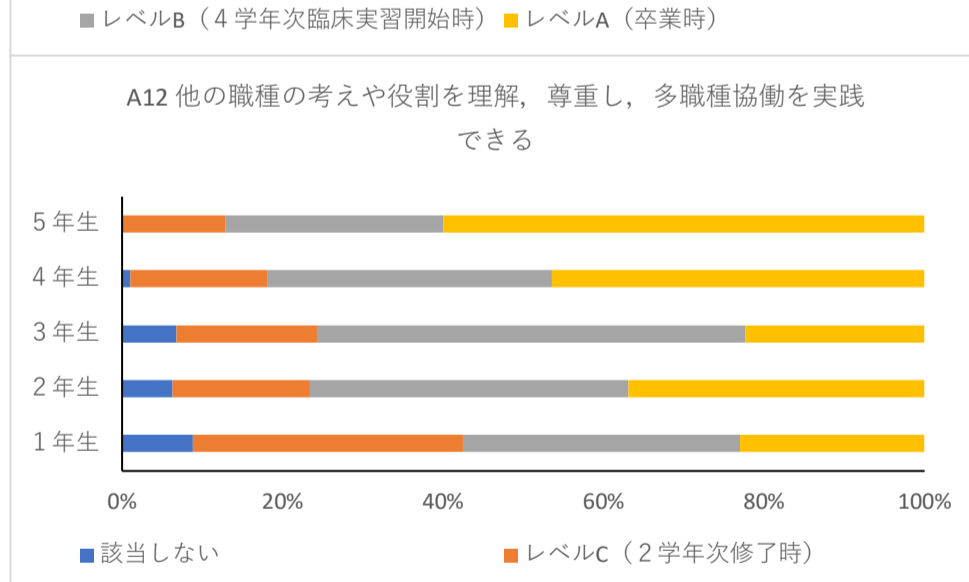
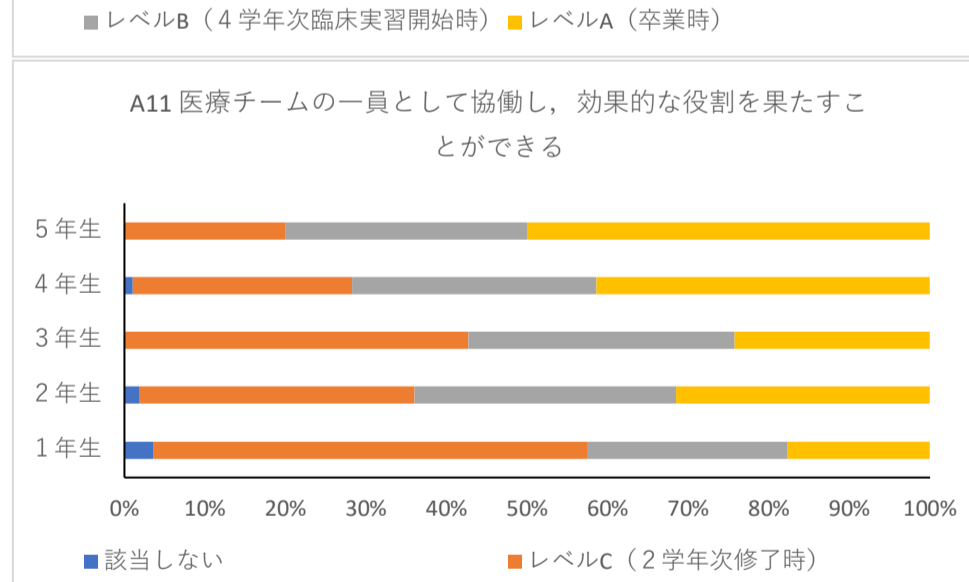
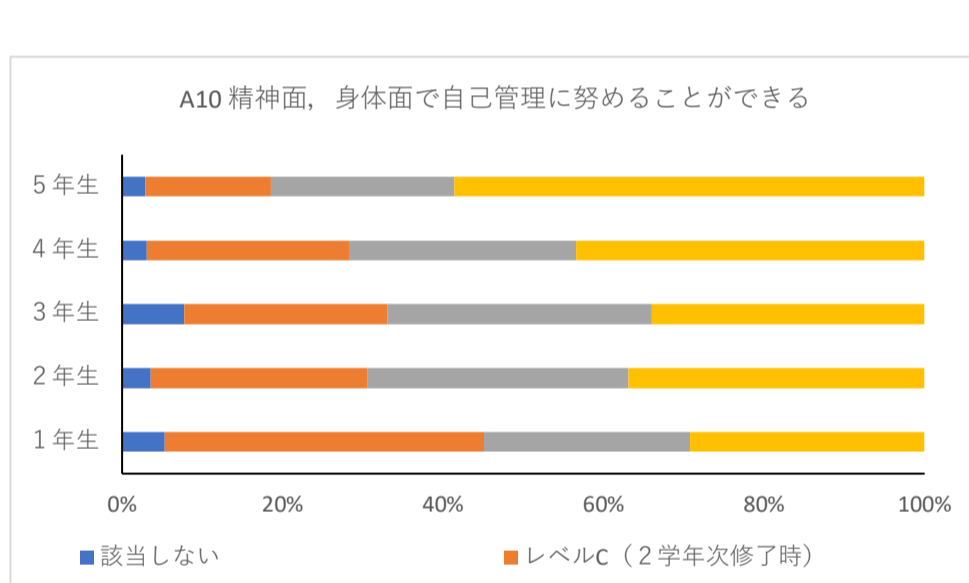
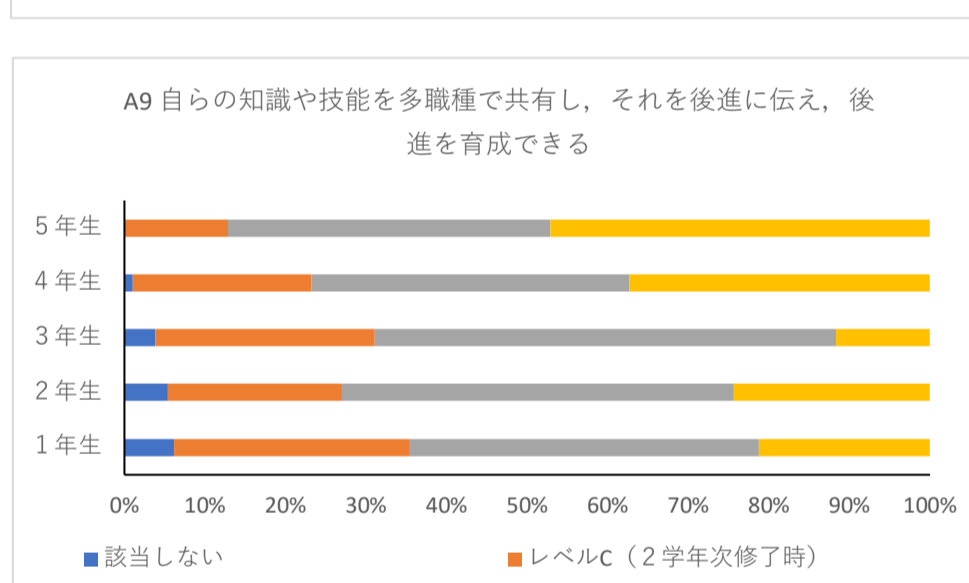
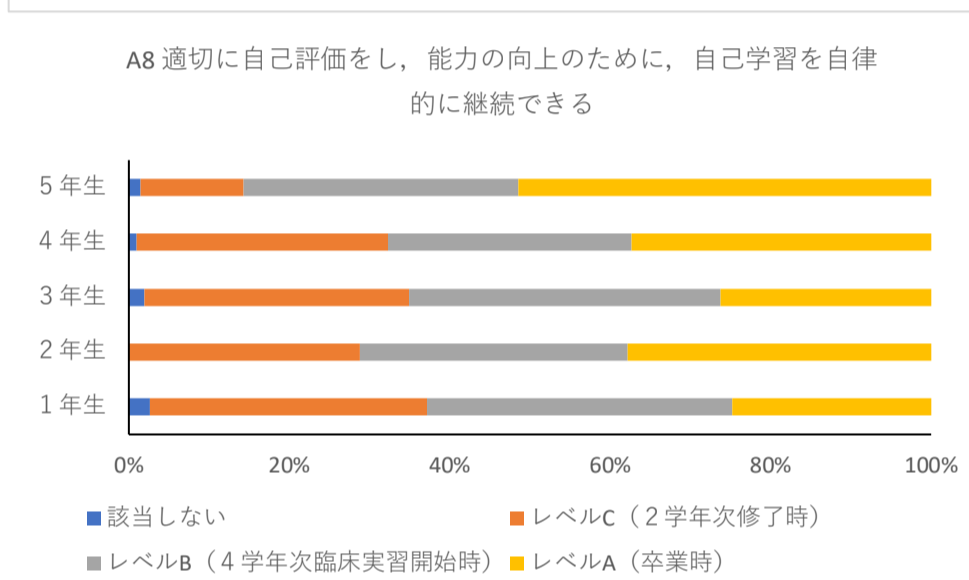
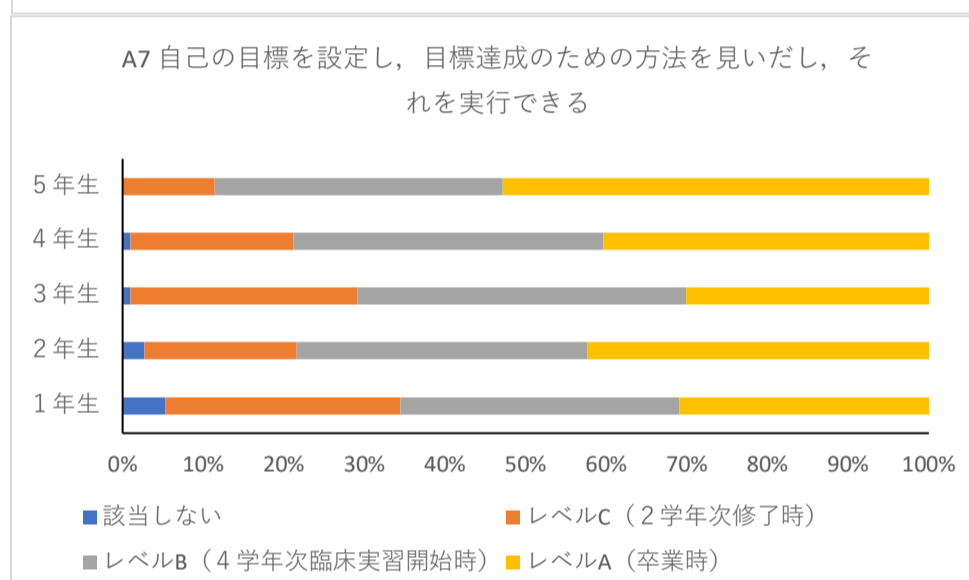
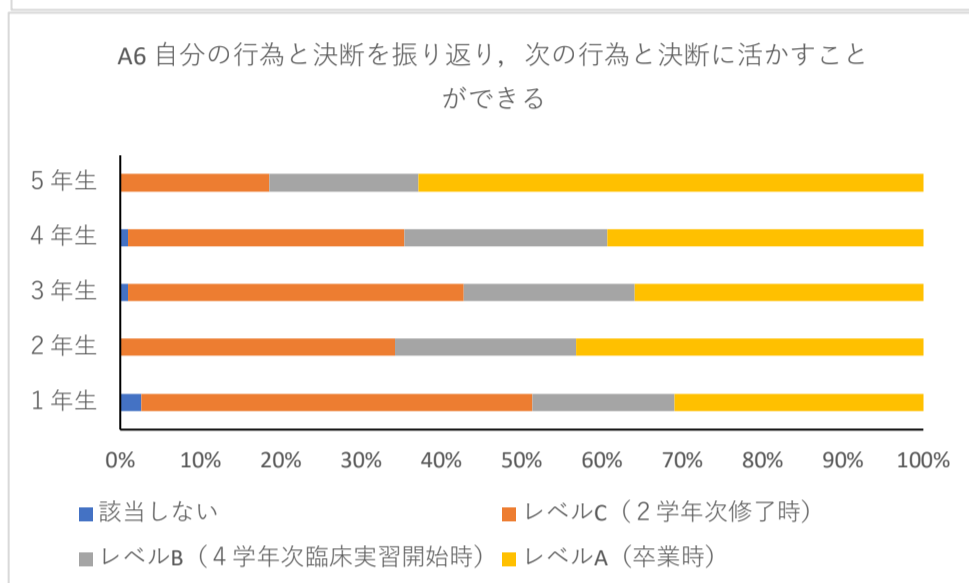
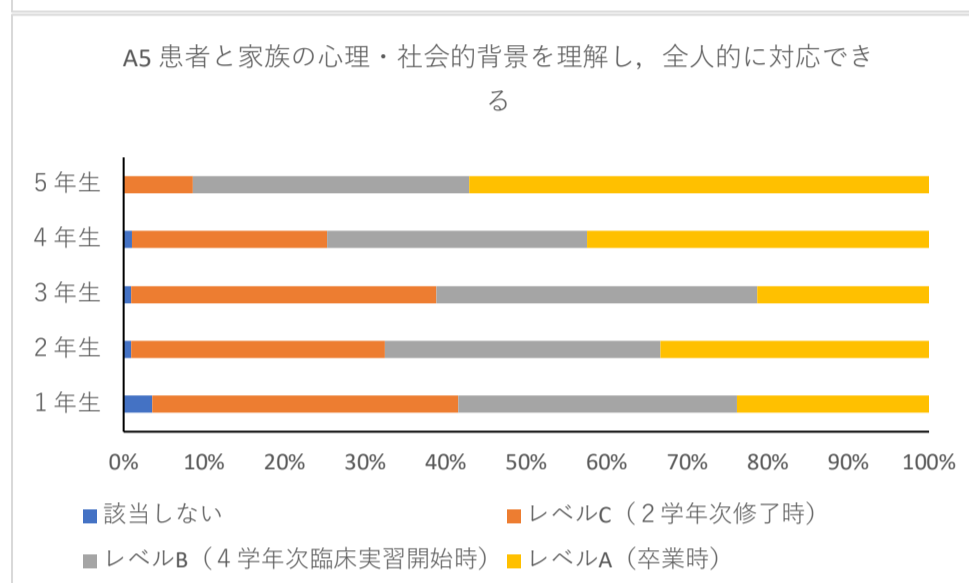
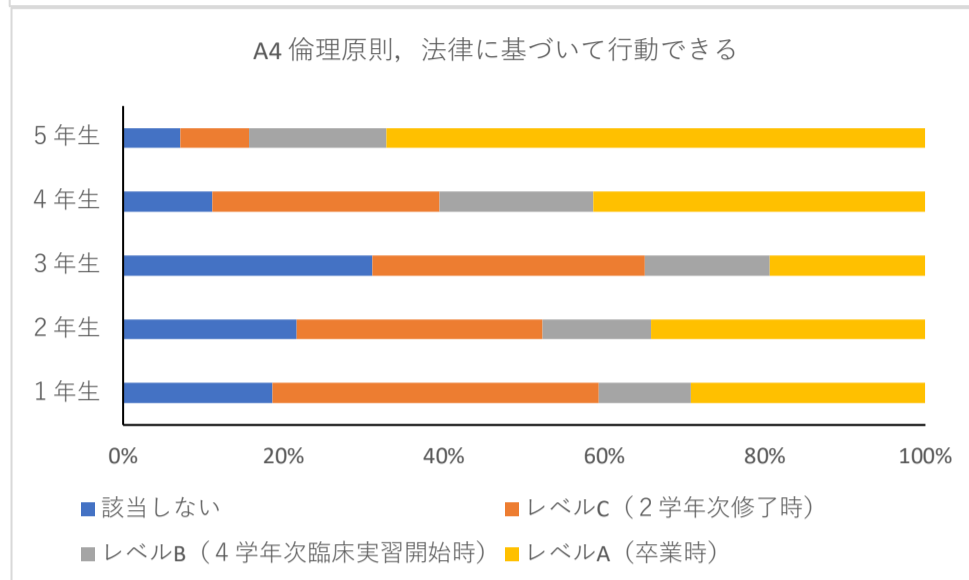
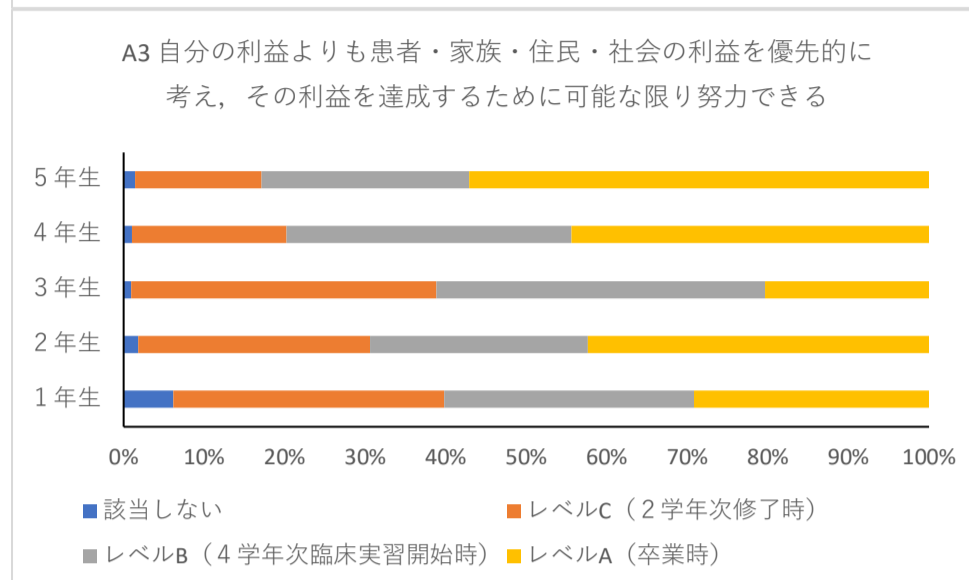
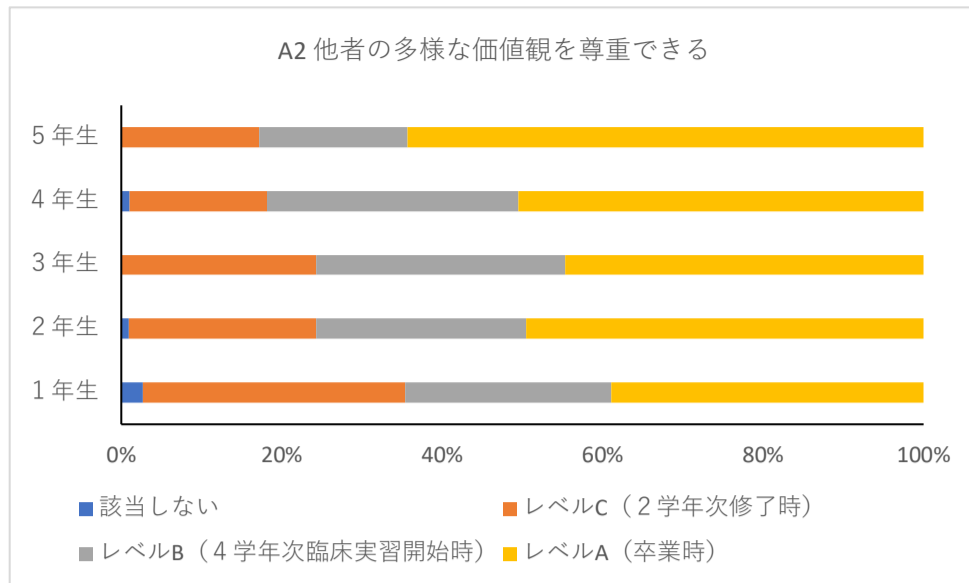
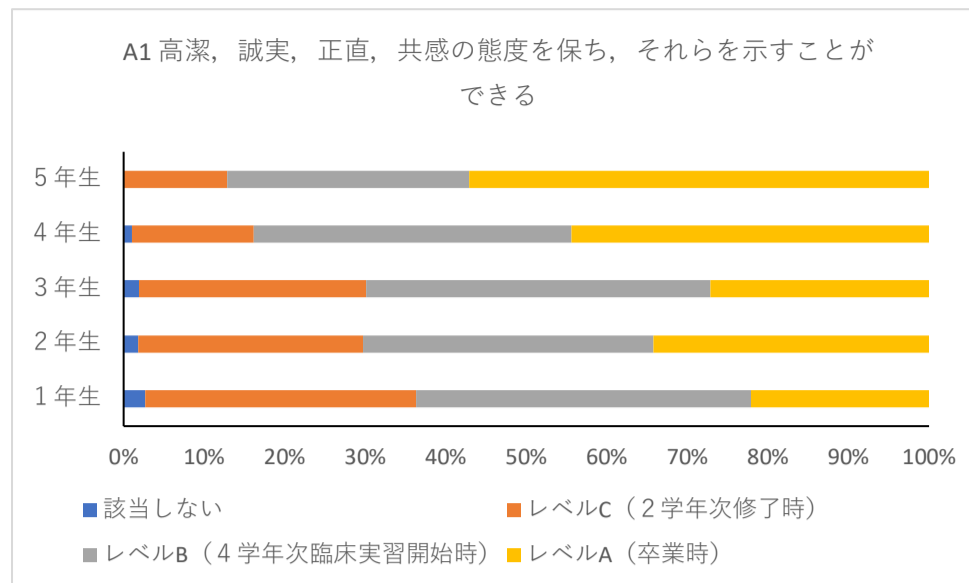
#### 3. まとめ

コンピテンシー・マイルストーン調査を各学年次で行い、特に、2 年次、4 年次で未達成割合が学生の 40%以上のものを抽出した。4 学年次においては、臨床実習開始前レベルで未達成割合が、III. 医学の知識と科学的探究心、IV. 診療技能、V. 地域社会への貢献の 3 つのコンピテンズで抽出された。

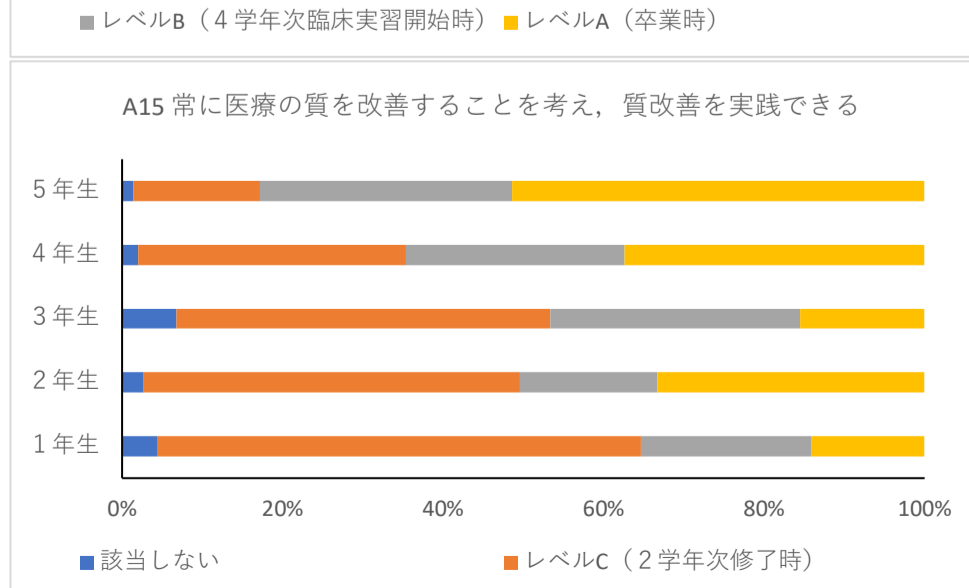
今回の調査で抽出された 4 年次の 3 つのコンピテンズのそれぞれのコンピテンシーに関しては、特に、臨床実習中に習得し、卒業時においては、卒業時コンピテンシーにおいて、すべての学生が達成できるよう教育していくことが望まれる。

2019年度マイルストーン到達度

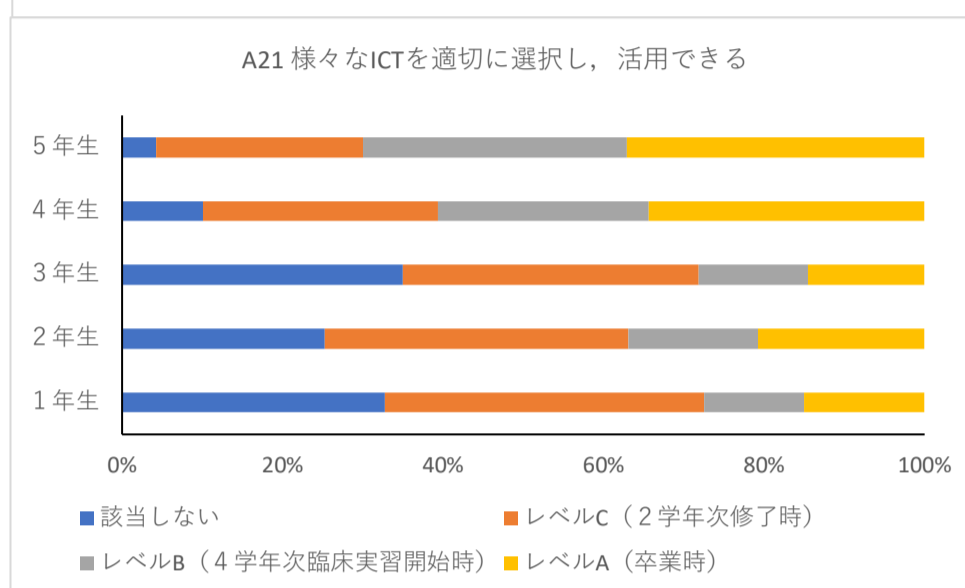
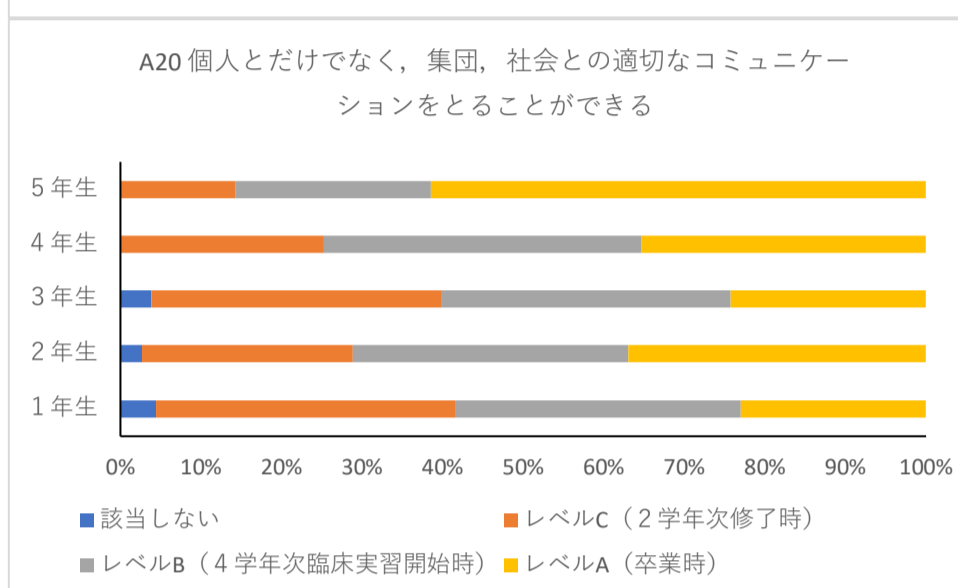
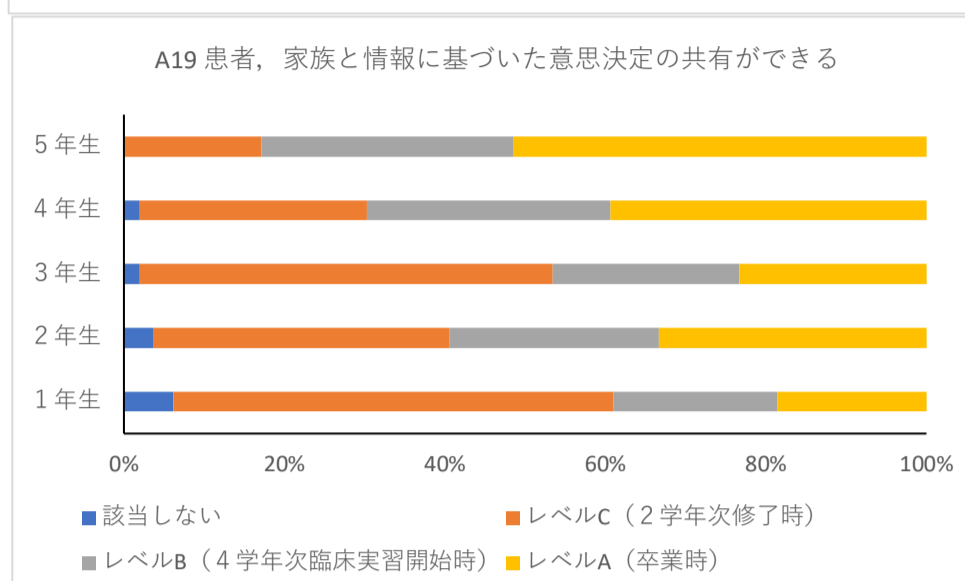
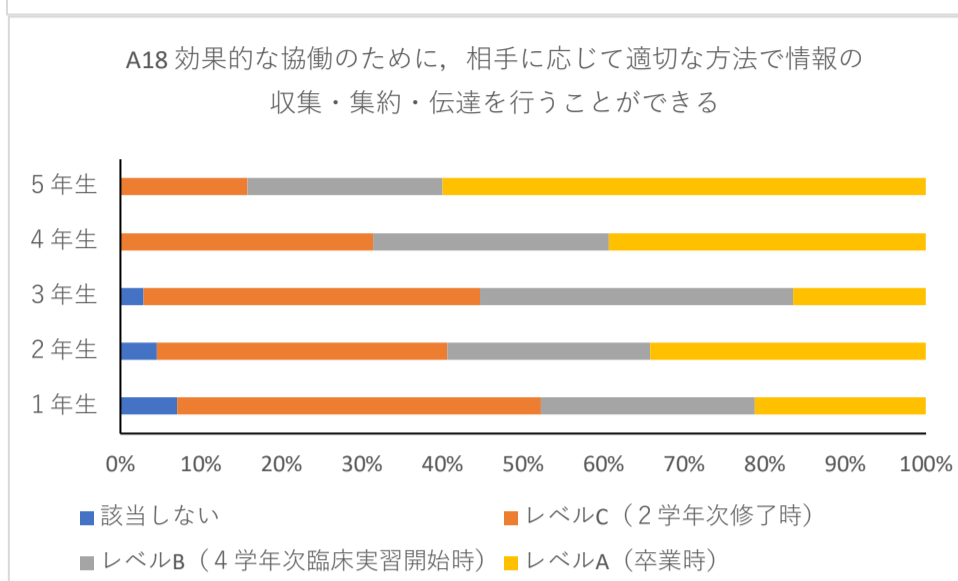
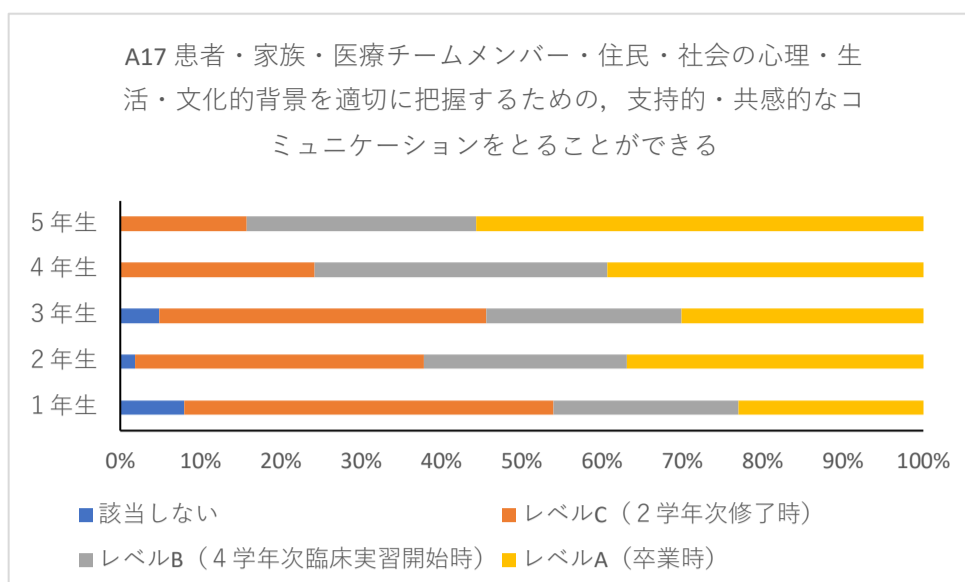
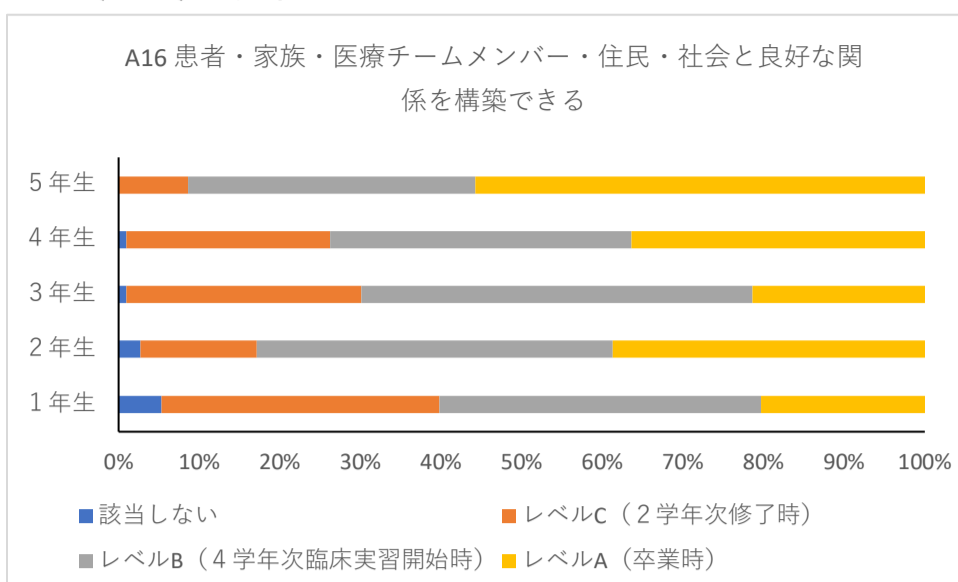
1.プロフェッショナリズム



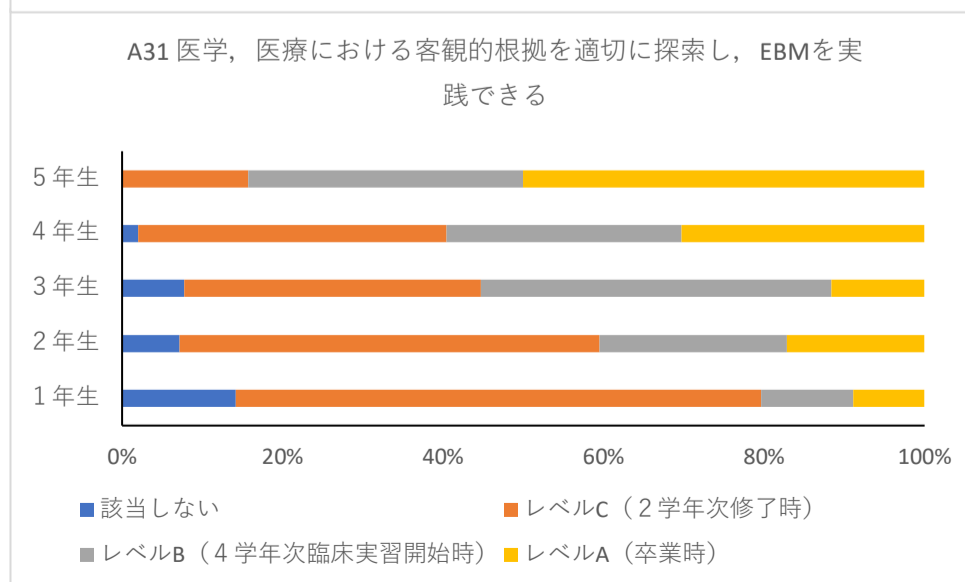
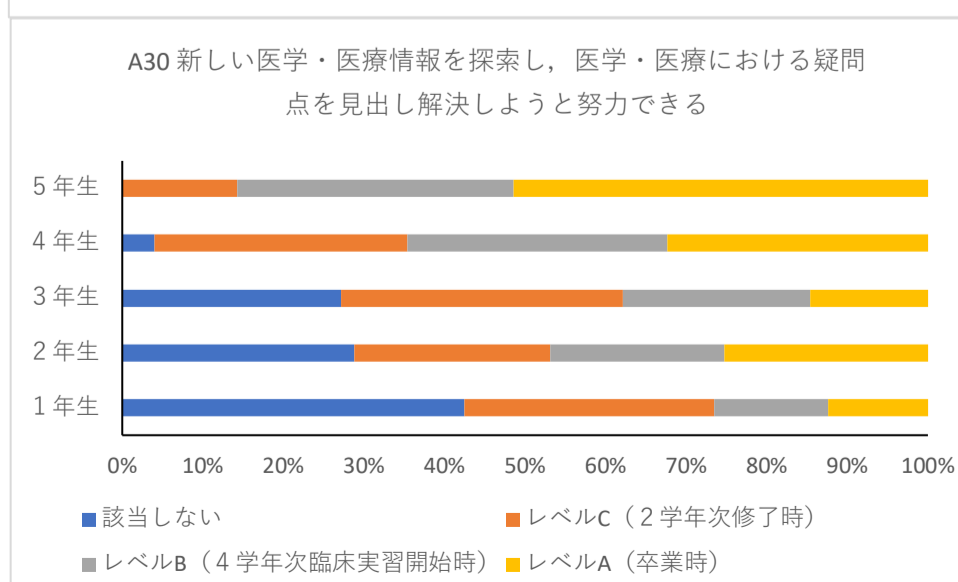
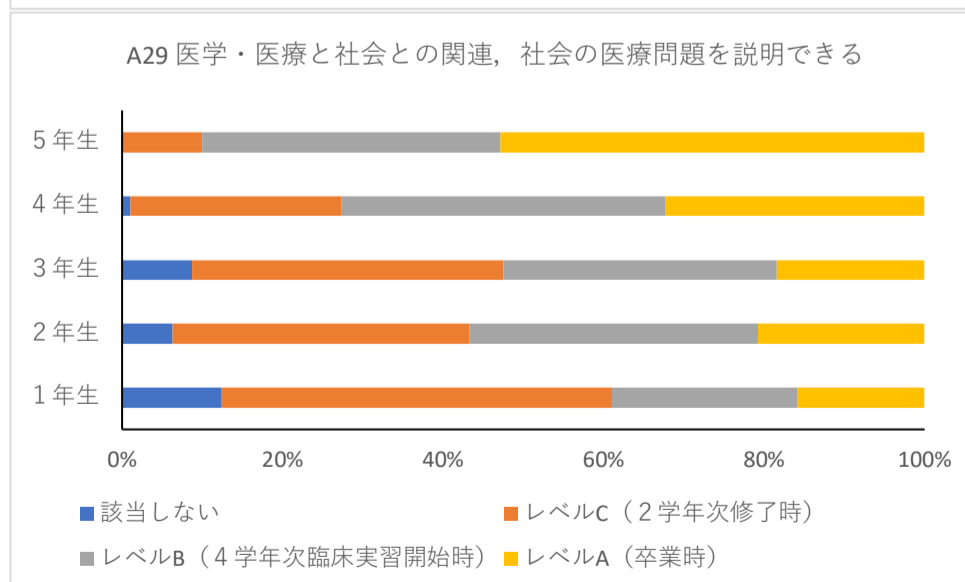
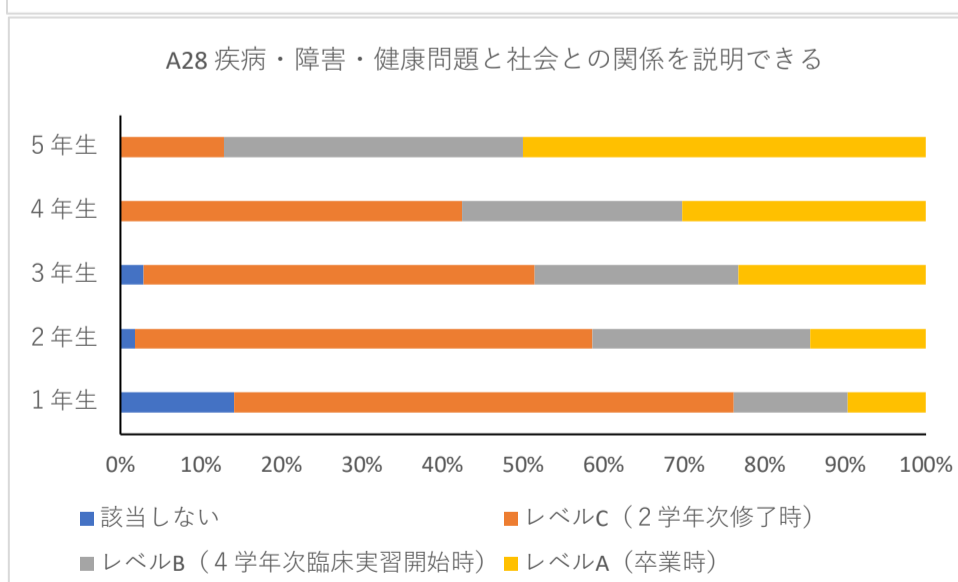
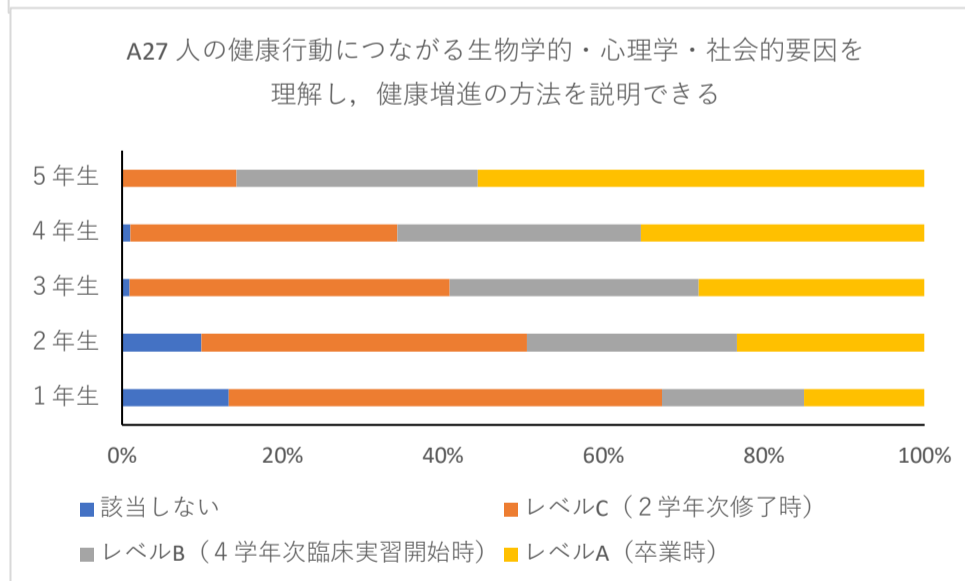
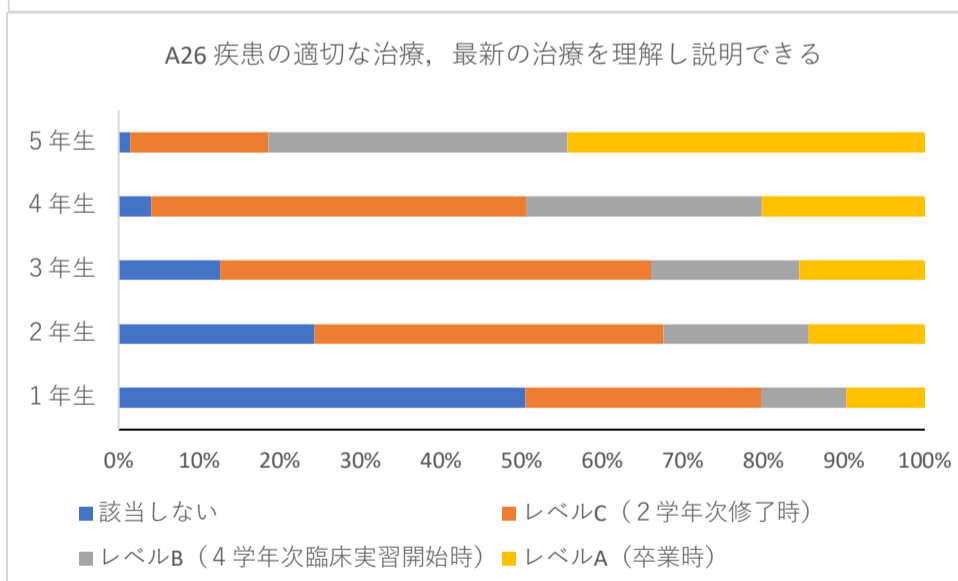
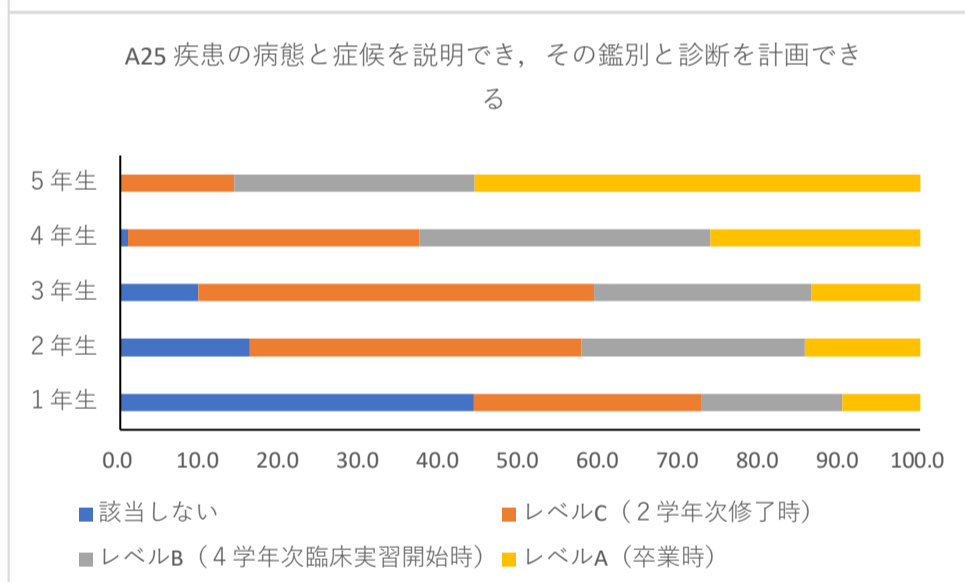
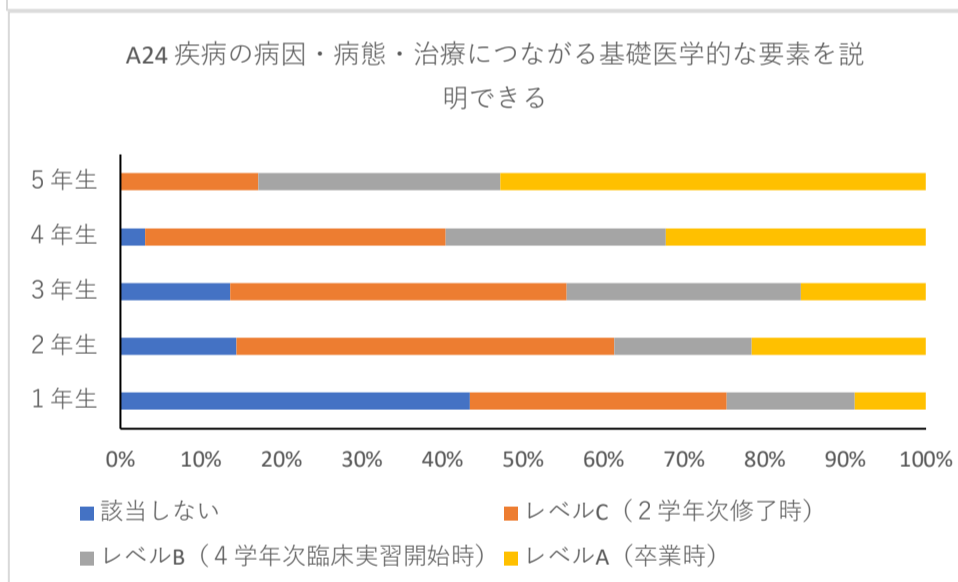
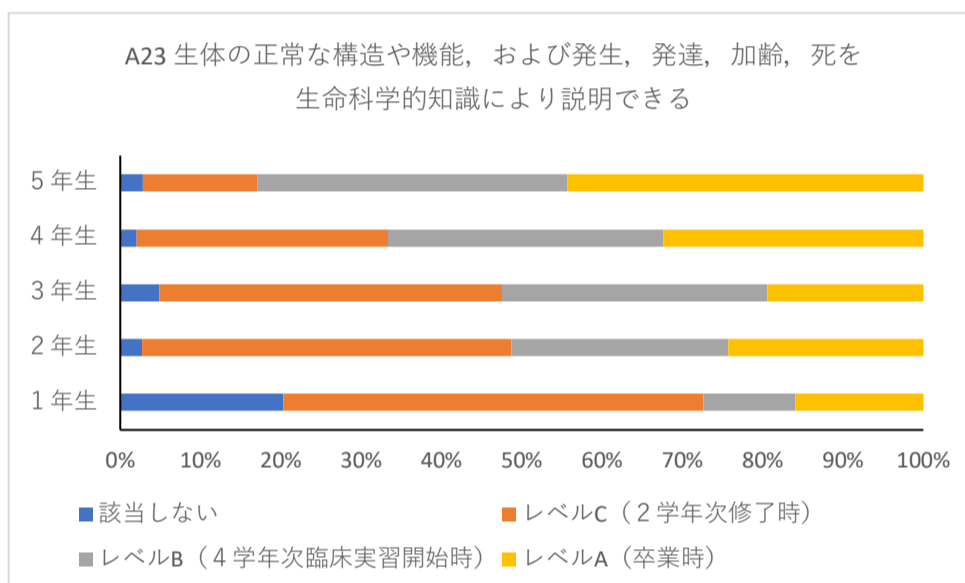
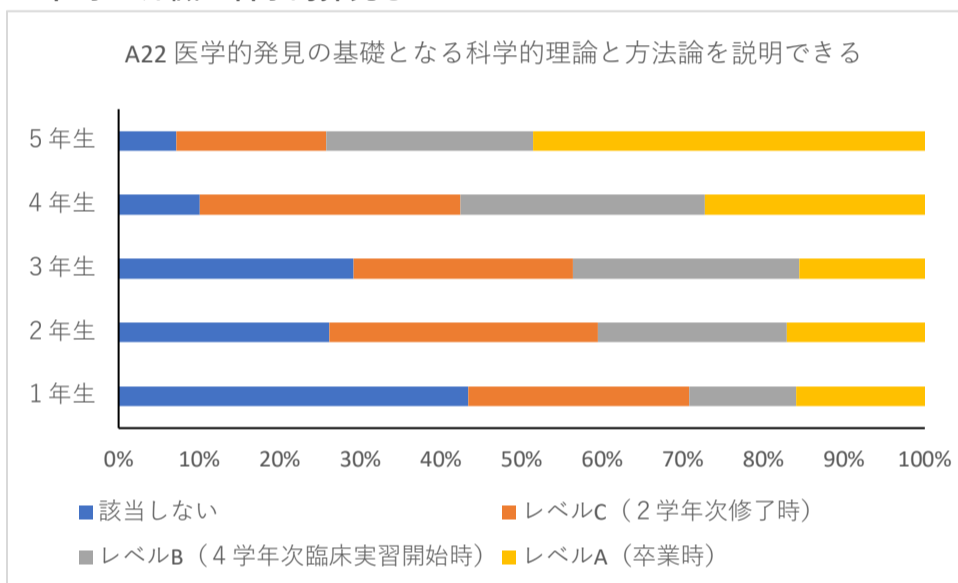
	回答者	学生数	回収率
1年生	113	126	89.7 %
2年生	111	125	88.8 %
3年生	103	113	91.2 %
4年生	99	113	87.6 %
5年生	70	111	63.1 %



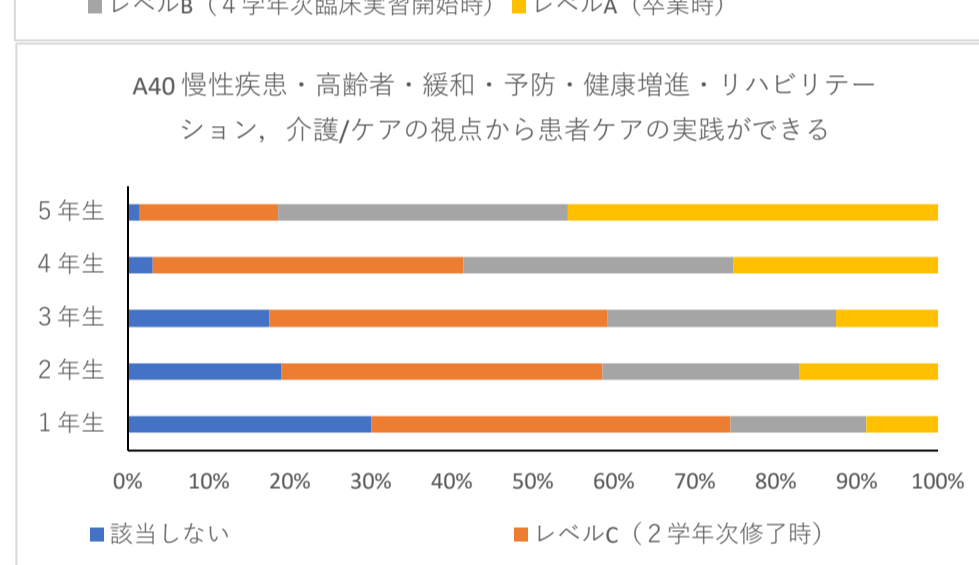
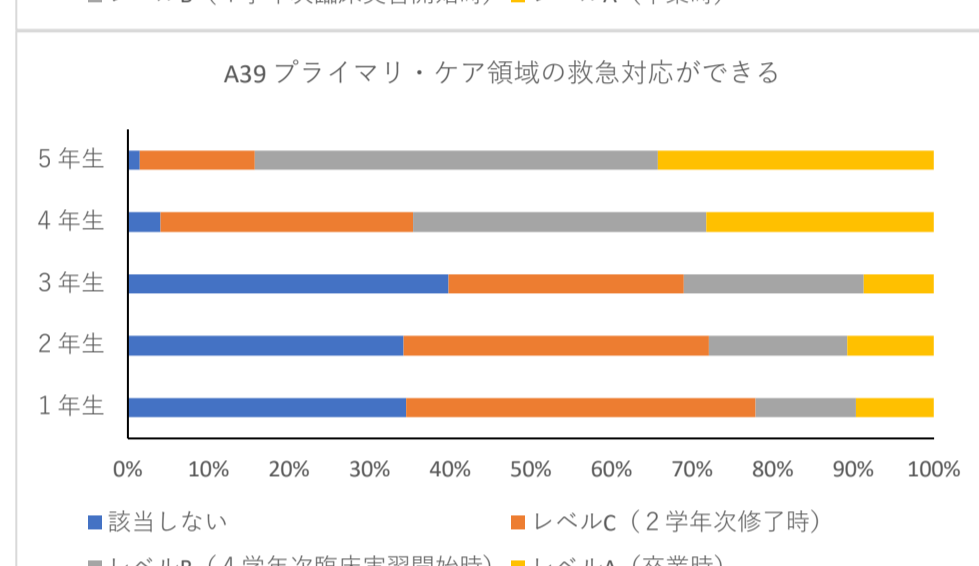
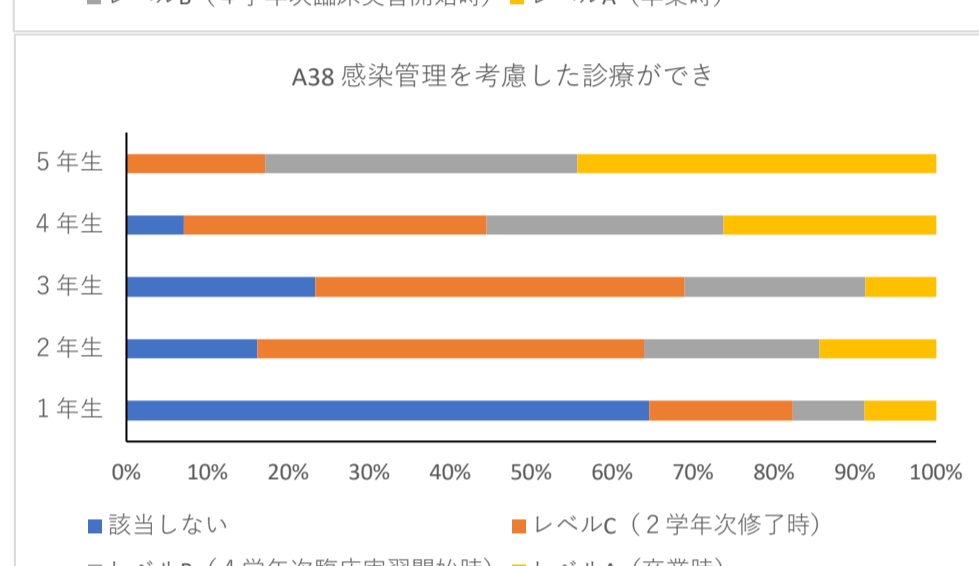
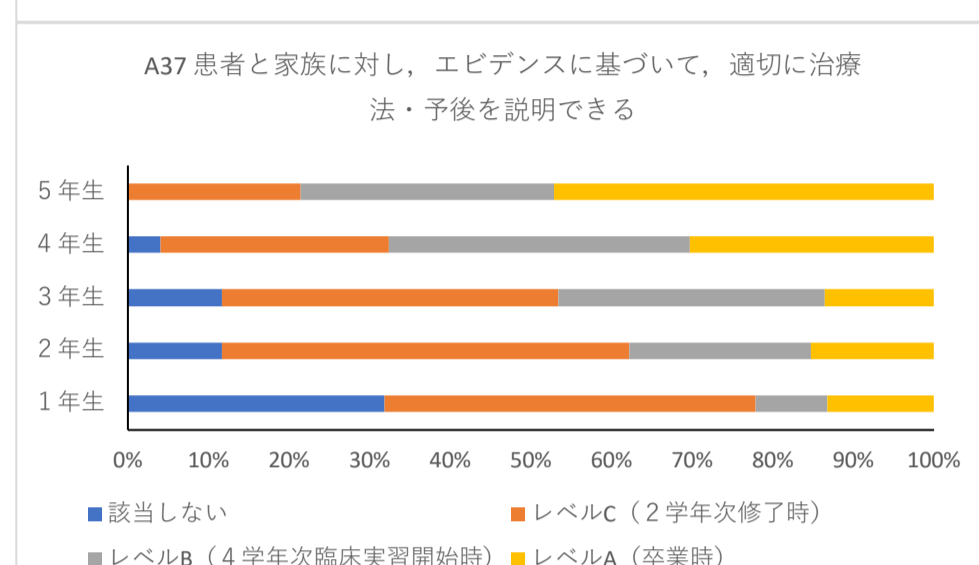
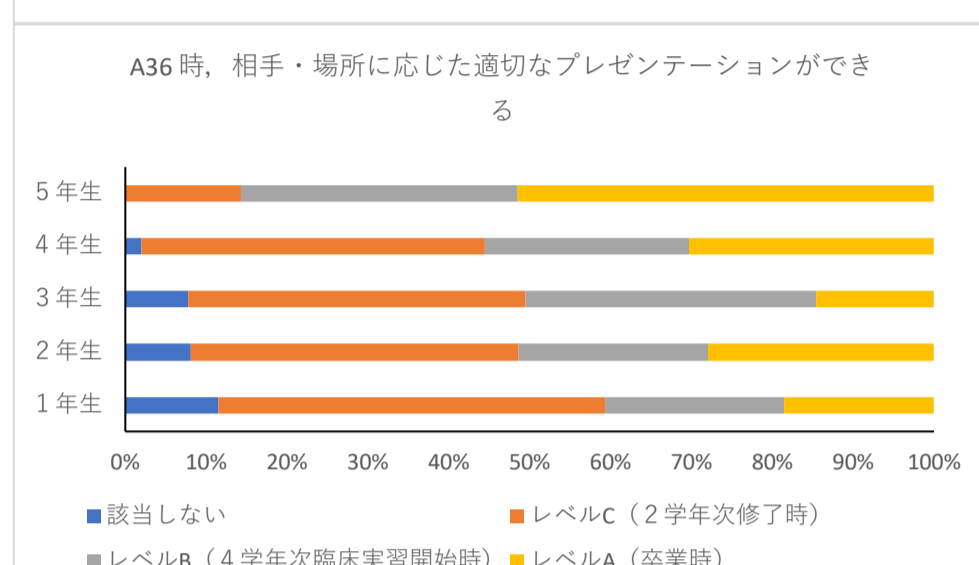
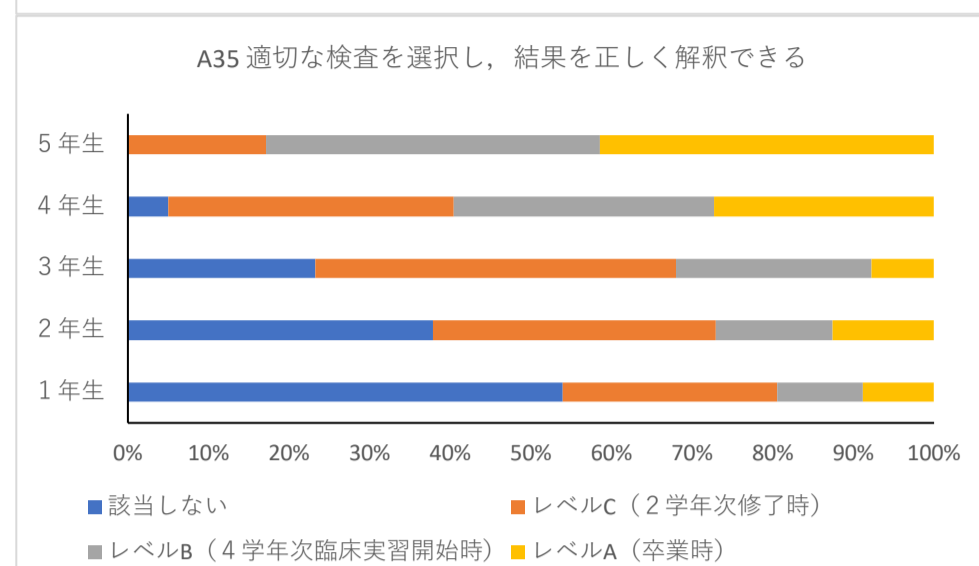
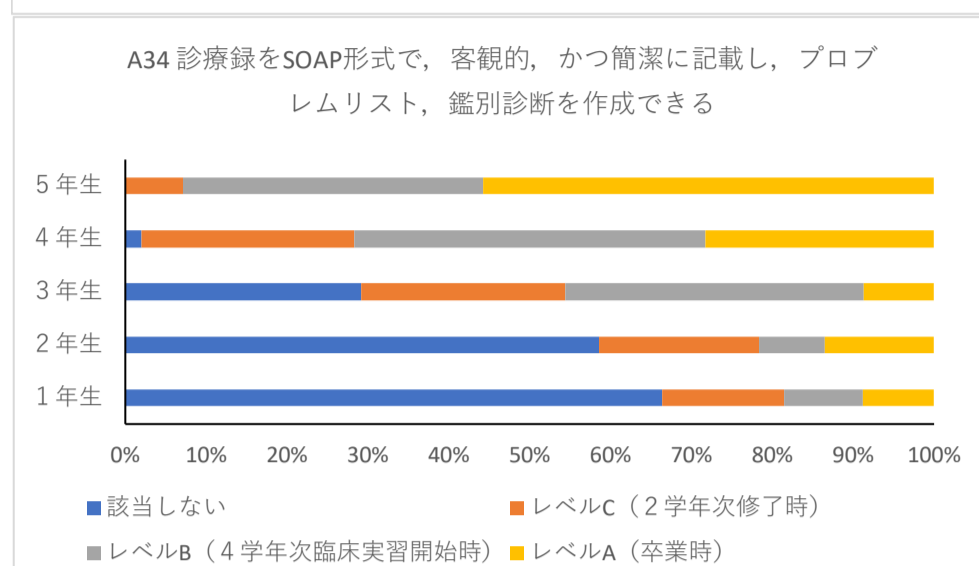
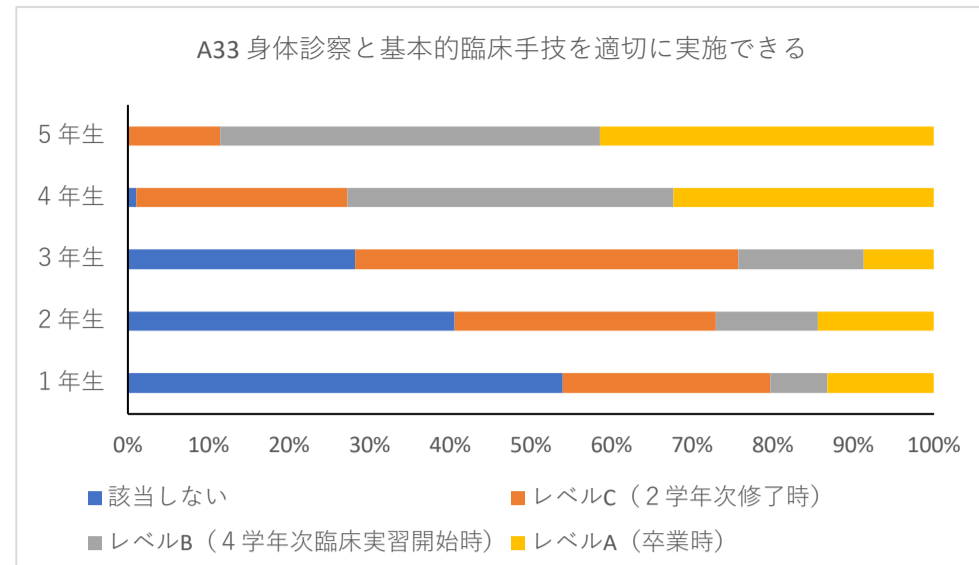
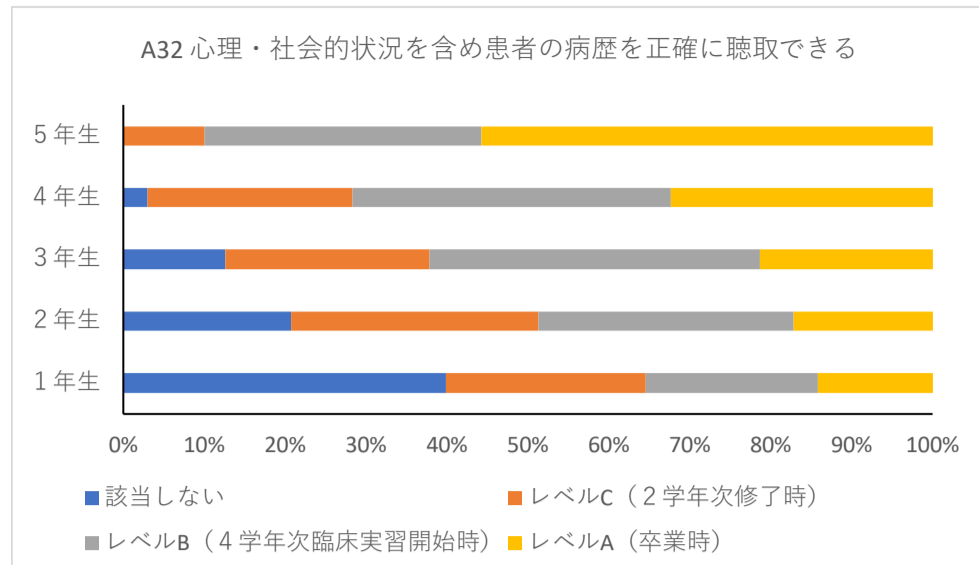
## II. コミュニケーション



## III. 医学の知識と科学的探究心



#### IV. 診察技能



#### V. 地域社会への貢献

